

令和2年度県下スポーツ少年団大会開催の感染防止対策

①基本事項

○全剣連のガイドライン、開催要項に遵守し参加のこと

②具体的対策

全般事項

□大会参加者の遵守事項のアナウンス

(県剣連HP、各スポ少団体へ連絡)

○以下に該当する者は参加を見合わせること

- ・体調が良くない者(倦怠感、咽頭痛、咳、下痢などの風邪のような症状のある者)
- ・発熱のある者(37.5度以上の者)
- ・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
- ・過去14日以内に外国から帰国した場合
- ・過去14日以内に感染流行地域(東京、神奈川、千葉、埼玉、大阪、北海道、福岡等)へ出掛けた場合
(家族内感染にも注意が必要)
- ・基礎疾患のある者

○参加者は当日に自宅で検温を行ってもらおう。入館前にも検温を実施する(ダブルチェック)

○面マスクは必ず着用すること(試合以外でも着用)

- ・試合以外の時も不織布マスクや一般用(布)マスクを着用
- ・役員、審判員、スタッフもマスクの着用を厳守

□入館時の問診(大会参加の判断)大会時の巡回等

→救護係(医療安全委員会委員)

- ・救護係 10/18 菅先生、茂木先生、川上
11/3 菅先生、茂木先生、川上

□万一の感染者発生に備え参加者名簿の保存

- ・大会後2週間以内に新型コロナ感染症を発症した場合には、県剣連へ報告、速やかに濃厚接触者の有無等について追跡調査

主催者側の事前準備

必要物品

- ・非接触型体温計（5本）（選手、保護者用）・・・受付後にテント内で測定
- AIサーマルカメラ（1台）（役員、審判員、補助員用）・・・1F入り口に設置
- ・エタノール手指消毒液（計17本）
（役員席2本、試合場4本、事務局席2本、入り口2本、役員控え室1本
トイレ前6本）
- ・マスク（不潔にした方、無くした方用）
- ・除菌シート、ペーパータオル（トイレ 14箇所?）

参加者の留意点

- 参加の可否について（入場者名簿）
- マスク着用
- こまめな手洗い、アルコール消毒
- 常に十分な距離を確保
- 飲食は指定の場所で（観客席のみ）

③検討事項と対応について

- 十分な換気のため窓・戸の解放、床の清掃
→試合の合間に戸の開放と床清掃を同時に行う
- 特に感染リスクの高い場所でのソーシャルディスタンス
 - ◎役員、審判控え室 ◎女子更衣室 ◎剣柔道場 ◎受付
 - ・控え室、更衣室でもマスク着用を厳守
 - ・審判控え室は極力使用を控える（密の回避）
- 再入場を認めない（入場後は入り口を閉め退場のみとする）
- 観客席では一席以上を空けて使用する
 - ・各団体に観客席を割り当てる
 - ・通路で着替えをしない
- 試合会場のレイアウト
 - ・待機場所（必要箇所）に目印を
- 応援の仕方の注意点をアナウンス（拍手のみなど）
- 手洗い場所、トイレの衛生確認
- ゴミの廃棄
 - ・使用したマスクはビニール袋に入れ各自で持ち帰ること